

経営監査の本質とその実践事例に学ぶ

— 経営に資する内部監査部門へのステップアップの布石 —

- 日時 ● 2017年6月20日(火) 10:00~17:00 <12:00-13:00 昼食・休憩>
- 会場 ● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』
- 講師 ● 吉田 邦雄氏 株式会社ポーラ・オルビス ホールディングス 内部監査室部長

●プログラム●

【ご経歴】

中央大学法学部卒業、富士ゼロックス(株)入社。法務及びコンプライアンス、経理、企画、資材畑を歩み、生産企画部長、経営監査部マネージャー(部長)、(株)テクノロ監査役、長野ゼロックス(株)監査役等を兼務、歴任し、2007年4月より(株)ポーラ・オルビス ホールディングス 内部監査室部長。

日本公認不正検査士協会 アドバイザリー委員会委員歴任、CFE(公認不正検査士)、20年以上に亘る内部監査及び不正調査の現場第一線に従事。日本内部監査協会 講師、経営倫理実践研究センター 上席研究員(監査部会及び不正調査研究会 各主宰)、東証上場企業、中央官庁向け 不正・不祥事防止、内部監査(経営監査)の高度化等に係る講演やコンサルティング活動も積極的に展開中。明快で懇切丁寧な語り口で好評。(株)経営監査研究所 代表取締役社長、

【開催に当たり — 吉田講師からのメッセージ】

昨今の会計不祥事、データ改ざん事件等 我が国を代表するリーディングカンパニーの企業不祥事に関し、企業側から“自浄機能強化”による「不祥事防止」ニーズが一段と高まっております。他方、「企業価値向上」に大きく貢献する提言型の“経営に資する監査”にも注目が集まってきております。

これら2つの大きな課題を同時解決する「経営監査」、これ迄本格的な研修セミナーが少なかった「経営監査」を真正面から取り上げ、「企業価値向上」と「不祥事防止」の本質を深く考察しようとするものです。

外部専門家ではなく、企業内にて長年の経営監査/不正調査に関する実務体験から、これまでの講演内容の総集編*+α: エピソード、失敗談、内幕話、本格的な解決への示唆等を織り交ぜながら内容ある1日研修“コースにしたいと考えております(総集編*には守秘義務上 公表済み資料を使用します、予めご了承ください)。

【講演サマリー】

- I. 経営監査の意義及び業務監査との違いに言及します。ここでは経営監査とは、本来経営戦略に対応する監査であり、その最終目的は経営課題の解決にある、いわゆる“経営監査の本質”を学びます。
- II. 経営監査の実践事例では以下の内容をご紹介します。
 - ① 三大論理的思考の実践事例
これまで公表済みの論理的思考(マトリックス思考/仮説思考/ロジックツリー思考の活用事例)と経営監査プロセスを体系的におさらいしますが、エピソード、内幕話等を追加してお話したいと考えます。
 - ② ベンチマーキングの実践事例
品質コスト監査を題材に具体的なベンチマーキング手法(公表済み)を復習すると共に、監査にて正解が見い出せない時の緊急対応を探っていきたいと考えます。
 - ③ 本社テーマ監査/子会社監査の実践事例
本社テーマ監査(なぜ聖域?)、J-SOXの改革提案(効率化のみで満足?)、子会社統括リスク(赤字事業のままでOK?)への着眼点や解決への示唆を学びます。(一部映像のみ)
 - ④ 経営監査の方向性
今後の監査領域として、コーポレートガバナンスレビューやERMプロセス監査の方向性等を紹介いたします。
- III. これからの不祥事防止への考察と題し、特に難易度の高い“不正”に焦点を当て、経営トップの本音を探り、未然防止体制、早期発見体制、厳正処分確立、企業風土醸成のポイントをご紹介します。

●参加要領●

●受講料：1名(資料・昼食費含む)

正会員	43,200円	一般	46,440円
-----	---------	----	---------

[本体価格 40,000円 本体価格 43,000円]

* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者が出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先

一般社団法人 企業研究会 経営管理研究グループ

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951~2

171388-0203		2017 6/20 経営監査の本質と実践事例に学ぶ	
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			

◆受講対象者(中級/上級者コース)◆

内部監査部門中心に倫理・コンプライアンス部門、内部統制部門等の役員部課長及び実務経験者クラスにお勧めし、幅広い実務知識と問題解決力を学び取って頂きます。

●プログラム●

※凡そ1時間毎に10分程度の休憩を予定しています。

10:00

I. 経営監査の位置付けと業務監査との違い

- ・経営監査とは？
- ・経営戦略に対応する監査
- ・最終目的は経営課題の解決
- ・業務監査からの変更ポイントと経営監査の期待効果
- ・業務監査と経営監査との比較

II. 経営監査の実践事例紹介

(1) 三大論理的思考の実践事例

- ①監査一企画フェーズと付加価値の向上
- ②論理的思考の駆使 ～マトリックス思考、仮説思考、ロジックツリー思考～
- ③深堀監査の具体的方法 ～経営的視点からのリスク識別技法～
- ④監査シナリオの策定
- ⑤実地監査時の監査シナリオ検証
- ⑥監査シナリオ検証後の監査報告書策定方法

(2) ベンチマーキングの実践事例

- ①品質コスト監査の絞り込み
- ②ベンチマーク企業の比較と活用
- ③品質コストマネジメントと低減策の提言

(3) 本社テーマ監査/子会社監査の実践事例

- ①本社テーマ監査の着眼点と困難性 ～推進上の課題は？、聖域だから？～ ★映像のみ
- ②ソフトガバナンス監査の監査企画原案 ～ガバナンス対象外？～ ★映像のみ
- ③個人的経営から組織的経営への提案 ～社長が対象？～ ★映像のみ
- ④J-SOXの改革提案 ～効率化のみ？～
- ⑤経営監査視点からの子会社統括リスク ～ビジネス構造は？、赤字事業脱却は？～
着眼点や解決への示唆

(4) これからの経営監査の方向性

— 今後の監査領域として、コーポレートガバナンスレビュー、ERMプロセス監査、そして“非監査業務”であるコンサルティング機能設置等の方向性 —

III. 経営へ真に貢献できる不正/不祥事防止への考察

—これまでのコンプライアンス体制強化がなぜ実を結ばないのか？—

- ①経営トップの本音 ～コンプライアンス担当役員や経営監査は？～
- ②未然防止体制づくりのポイント
- ③早期発見体制づくりのポイント
- ④厳正処分確立のポイント
- ⑤企業風土醸成のポイント

* 内容は若干変更する場合があります。予めご承知をお願いします。

IV. 意見交換及び質疑応答 講義をベースに質疑応答および自由な意見交換の場を設けます

《参考資料》

- 最近のT電機メーカー会計不祥事からの教訓
- 経営監査に必要な人材育成プログラム
- 経営判断原則
- 不正防止プログラムの骨子

12:00
昼食
休憩
13:00

17:00

★弊会ホームページからも申込み可能です。「トップ」→「セミナー・会員研究会」→「03. 監査」